

ロータリー地域社会共同隊の独自性

RCCは、地元根ざしたグループです。メンバーはみな、地元に住み、地域のニーズに応えるために、地元の人材を駆使して奉仕プロジェクトを行います。自分たちの地域のための奉仕プロジェクト。この認識が、影響が持続するプロジェクトを実施する原動力となるのです。ロータリー補助金プロジェクトをRCCが支援すると、ロータリアンによる直接支援が終わってからも、そのプロジェクトの影響が長続きするのは、そのためです。

「水と衛生支援のためのローリアン行動グループ」
議長、ロン・デナムさん



RCCプログラムの詳細や、新しいRCCの結成に関する情報は、ウェブサイト (www.rotary.org/ja/rcc) をご参照いただくか、地区のRCC委員長または国際ロータリーの職員 (rotary.service@rotary.org) にお問い合わせください。

ロータリー 地域社会共同隊

行動しよう

RCCは、ロータリークラブが活動している地域社会であれば、どこでも結成できます。地域社会のニーズを住民から直接調べて、地域一体となって取り組めるよう地元住民に呼びかけましょう。グループの中核となる人たちが見つかったら、ロータリー地域社会共同隊 結成書 (ロータリーのウェブサイトからダウンロード) に記入して、国際ロータリーに提出し、正式にRCCを結成しましょう。

地域のニーズに地域が応える

ロータリー地域社会共同隊（RCC）は、地元のニーズに応えるために、ロータリークラブと協力して活動する人たちのグループです。RCCはロータリークラブがスポンサーとなり、ローターアクトやインターアクトと同様に、ロータリークラブと協力して奉仕プロジェクトに取り組みます。

RCCの中には、特定のプロジェクトを実施するために結成されたグループもあれば、地域に根強く残る大きな問題に、長期的に取り組むグループもあります。RCCのメンバーは地元地域をよく知っており、地域ニーズを基に独自の目標を立て、熱意、創造力、粘り強さを結集して、プロジェクトを計画・実施します。地域のニーズに地域が応える。それがRCCのアプローチです。

RCCは、ボランティア活動に熱心な地元地域の成人であれば誰でもメンバーとなれますが、メンバーはロータリーの会員ではありません。RCCでは、さまざまなスキルや経験のある人たちが参加できるため、多様なメンバーがそれぞれの強みを発揮して、奉仕プロジェクトに集中することができます。通常、毎月1～2回の会合が開かれ、会費（小額または無料）はグループごとに設定できます。RCCではまた、メンバーがロータリアンと協力することを通じて、リーダーシップスキルを身につける機会も得られます。

重点分野



世界各地で活躍するRCC

各RCCは、経済先進国、発展途上国、都市部、散村部を問わず、世界各地の地域社会で活動しています。その活動例をいくつかご紹介します。

- 日本：愛知県・半田市のRCC「半田災害支援ボランティアコーディネーターの会」は、災害発生時の支援活動に関するさまざまな研修を行っています。最近の活動例では、災害時に利用できる簡易トイレの講座を開催しました。
- ケニア：ナイロビ近郊にあるクラビレッジRCCは、エイズで両親を失くした子供たちのホームを建てました。子供たち自身も、その多くがエイズウィルスに感染しています。
- 米国：コロラド州にあるパーカーRCCは、特別なニーズを抱えた青少年や大人をメンバーに迎え入れ、成長体験を提供しています。
- グアテマラ：ペーニャ・ブランカRCCは、地元の散村に、簡易水道や保健センターを設置する取り組みを行っています。

